

標記工場爭議一関シテハ其後數次勞資ノ會見交渉ヲ重
不夕ルカ遂ニ安根ヲ見ルニ至リエ工場主側ニ於テハ三
月八日各職工ニ対レ別記レ、如キ事業開始ニ付出席方
ノ通知狀ヲ發送セリ、然ル、職工側ニ於テハ府下高田
町相馬、谷籠地、一七九番地ニ集合争議対策懇談ヲ爲
シ、関連会同労働組合本部負那須鉄之助、金田原常次、從業
員代表羽坂國定外七名ハ三月八日工場ヲ訪問工場側代
表ト會見レ更ニ別記レ要求書ヲ提出シタルニ工場主側
ニ於テハ解決當日迄日給日割支給ヲ發表シ職工側ニ於
テハ六割五分支給方々主張レ態度強硬ナリシガ職工工
場主側、謙歩ヲ見ルニ至リ三月九日別記レ覺書、通
因滿解决セリ、
右及申(通)報候也

別記(一)

明九日ヨリ從來ノ如ク開始致シ假ニ付午前七時三十分迄、御出勤相度度又通知
候也

追而、若ニ御出勤ナ入時ハ當方ニテ準備致候間モ又御詠承相度度候也

三月八日

六字謹謹謹製作所

各職工宛

別記(二)

一、休業当初(二月三日)ヨリ本問題解決當日迄日給全額支給セラレタレ

二、後日万一千場、都合ヨリ休業スル場合ハ日給全額支給サレタレ

三、尔後一切給料延松シ様努力スルコト

四、本問題一關ニ機性者ヲ出サルコト

五、本問題一就而、一切、費用ハ工場負担トサレタレ

右、通「五ヶ条要求候也

昭和四年三月八日

日本労働組合同盟関東労働組合

六年復讐争議固一同